第 1 2 回医療計画の見直し等に関する検討会

 平成30年1月22日

第7次医療計画に基づく 取組状況の把握について

第10回医療計画の見直し等に関する検討会 今後の医療計画の見直し等に関する検討スケジュール(案) 平成29年3月8日 資料4を改変 平成 平成 平成 平成 平成 29年度 31年度 32年度 30年度 33年度 第6次医療計画 (中間見直し) 第7次医療計画 第8期介護保険 第6期介護保険 第7期介護保険事業(支援)計画 事業(支援)計画 事業(支援)計画 都道府県 Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ 職員研修会 5疾病・5事業の Δ 取組状況の把握 法第30条の6に基づく 施策の評価及び見直し ○ 5疾病・5事業及び在宅医療 反映が必要な中間見直しに おいて必要な都道府県に 中間見直しを 事項を整理 検討会 医療計画 O PDCAサイクルを推進するための指標 医療・介護の連携の推進に向けた対応 第7次医療計画策定後の課題 等について引き続き検討 構想WG 〇 地域医療構想の進捗管理 病床機能報告制度の改善 医療機能の分化と連携を進める施策 等について引き続き検討 連携WG 医療・介護 在宅及び 〇 在宅医療の整備の進捗状況 医療・介護の体制整備に関する課題 等について必要に応じて検討 検討会等 ○ 5疾病・5事業及び在宅医療に係る検討会 脳卒中、心臓病その 〇 その他関連する検討会 他の循環器病に係る 診療提供体制の在り 等において議論された内容につき、必要に応じて親 方に関する検討会 会で検討

5疾病・5事業の取組状況を把握する際に 都道府県に対し確認する事項について(案)

- 都道府県が策定した第7次医療計画のうち、5疾病・5事業について、協議の体制や主な施策について共有し、取組状況を見ていくことが重要。このため、次の事項について、各都道府県に対して、定期的に確認することとしてはどうか。
 - (1)医療提供体制

医療圏の設定状況、中心的役割を担う医療機関等の場所及び施設数、かかりつけ医の 役割等

- (2)協議の体制
 - ①協議の場:協議会、作業部会、圏域連携会議、検討会等の概要
 - ②地域医療構想との関係:調整会議での議論の状況等
- (3)主な施策 医療計画で設定された目標を実現するための施策
- (4)目標項目 ストラクチャー、プロセス及びアウトカムの指標

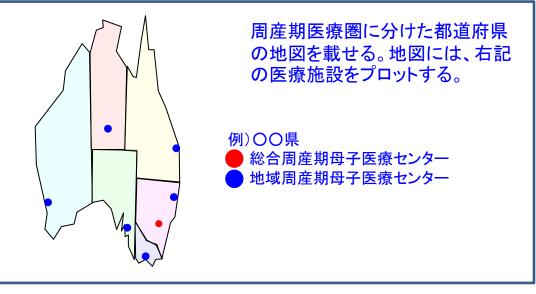


ホームページ等の掲載を通じて広く共有していく。

<mark>記載例</mark> D県の周産期医療に関する医療計画に基づく取組状況(イメージ)

(1) 医療提供体制

青字:解説と例示



周産期 医療圏 (二次医療圏 ※)	総合周産期 母子医療 センター (施設数)	地域周産期 母子医療 センター (施設数)	分娩取扱 施設数 (施設数)
A (A, E, F)	1	1	10
B (B,G)	0	1	8
C (C)	0	1	7
D (D)	0	0	5
計	1	3	30

※周産期医療圏と二次医療圏が異なる場合には記載する。

(2)協議の体制

①協議の場

協議会、作業部会、圏域連携会議、検討会等について概要を記載する。

会議名称	参加者	主な議題	開催間隔
周産期医療協議会	総合周産期母子医療C、地域周産期 母子医療C関係者、助産師	・周産期医療体制について	3か月に1回程度

②地域医療構想との関係

例)地域医療構想調整会議において、E病院の地域周産期母子医療センターへの認定について決定した。

記載例

つ県の周産期医療に関する医療計画に基づく取組状況(イメージ)

(3)主な施策

青字:解説と例示

施策名	予算額	内容
例)周産期医療体制整備事業	30,000千円	・総合周産期母子医療C、地域周産期母子医療Cの整備を行う。

(4)目標項目及び評価期間

策定時に設定した目標項目(成果・指標の策定時の値及び目標値)及び評価期間を記載する。

ストラクチャー

目標項目	策定時	目標値	評価 期間
指標A 例) 地域周産期母 子医療センター数	3	4	1年に 1回
指標B			

プロセス

目標項目	策定時	目標値	評価 期間
指標A 例) 母体搬送数の うち、受け入れ困 難事例の件数	20	10	1年に 1回
指標B 例)上記のうち、県 外搬送数	3	0	1年に 1回
•••	(4)		

アウトカム

目標項目	策定時	目標値	評価 期間
指標A 例) 周産期死亡率	3.9	3.6	1年に 1回
指標B			